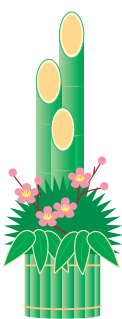




前列右より  
北村 正二議員  
武田 平吾議員  
北林 肇議員  
竹内 照夫議員  
佐藤 健司議員  
後列右より  
本郷あけみ議員  
中野 治郎議員  
鷺見 達夫議員  
竹内 基一議員  
堀井 三正議員  
津田 新三議員  
青山三四郎議員

ごあいさつ



市民の皆さまにはお健やかに平成二十三年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

大津市も中核市に移行し三年目を迎えようとしています。事務事業の拡大とともに、市民ニーズに応える責任が一層重くなりましたが、地方分権が進む時代の流れにそって進んでまいりました。時代や環境の変化に対応し、国政も地方自治体もそれぞれの役割を果たしながら、持続ある発展を目指さなければなりません。

また「湖誠会」も結成二年目となりましたが、十二名の議員が互いに切磋琢磨しながら「誠」の精神を大切に結の湖都・大津の発展のために活動してまいりました。

経済、財政状況ともに厳しい時代ではありますが、これらも住み良い活力のあるまちづくりのため市民の皆さまとともに歩んでいきたいと存じます。本年もより一層のご支援を「湖誠会」に賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

幹事長 北林 肇

## 海外姉妹都市訪問団の見直しについて

議会活性化検討委員会（佐藤健司委員長）

市議会における海外姉妹都市訪問については、今年度も姉妹都市締結20周年を迎えた韓国・亀尾市議会と相互に訪問して意見交換を行うなど、本市の国際交流の推進に成果を上げてきました。

しかし、経費削減の観点から今後は姉妹都市締結後の節目や招聘など特別な事情がある場合に限って行うこととし見直しを図りました。大津市の姉妹 友好都市 ランシング市（アメリカ） インターレーケン市（スイス） ヴェルブルク市（ドイツ） 牡丹江市（中国） 亀尾市（韓国）

## 超高齢社会を迎えどのような取り組みが必要か 「健康づくり、介護支援をテーマに行政視察」

11月17日(水)～18日(木)

詳細はホームページをご覧ください。

### 東京・豊島区健康「チャレンジ！」について

区民が自ら健康づくりを実践し、区民の健康増進と生活習慣病の予防を目的に参加しやすい健康プログラムを提供している。ポイントカードを配布し、プログラムは「知ってチャレンジ」、区内フィットネス施設や体脂肪測定会参加で「やってチャレンジ」、保健所企画講演会、「旅してチャレンジ」があり、指定された内容に参加すればポイントが加算される。そして、一定のポイント量により抽選会参加の資格を得て、商品券が



プレゼントされる。健康づくりの動機付けとして工夫がされていました。

### 稲城市「介護支援ボランティア制度」について

厚生労働省の許可を受けた有償ボランティア制度で稲城市は日本で初めてこの制度を導入した。高齢者が指定された施設や団体などでボランティア活動を行い、スタンプをもらう。そのスタンプ数によって、ポイントを得、本人の申し出により、ポイントを換金することができる制度で、高齢者がボランティア活動を通じて地域貢献すること、また、活動を通じ、介護予防をも促すことなどを主な目的としている。

大津市は、南北に細長い地形であるので、導入するには、いくつかの課題があるが、住民参加型の施策はこれからの時代に重要であると考え、これからの施策に活かせるよう共に考えていく所存である。

## 十一月定例議会一般質問

### 北村 正二議員



鳥獣害対策については、昨年度の要原に続き今年度は北小松を始め5地区で農業被害防止対策として防護柵を設置していた。しかし、まだ充足していない。農林水産省は平成23年度予算で鳥獣害被害緊急総合対策を講じる方針である。予算確保に全力で当たるべしと考えるが方針を問う。また熊の出没については、昨年7月から11月にかけて18回も目撃情報が発信された。周辺地域の皆さんの不安を思うとき、今後の熊対策の取り組みについてはどうか。

### 本郷あけみ議員



今後のごみの軽量化施策や市民などの協力のもとに将来のごみの排出量を予測すると、ごみ焼却施設は、現有の3箇所に拘わる必要はないと考える。今後、ごみ焼却施設の建て替えなど計画の際は、実態に合わせ、財政的負担を軽減する工夫をすべきではないか？

### 中野 治郎議員



「介護保険」制度について  
介護保険制度が導入されて一〇年、二〇一二年改正時期を迎えるが改正についていくつかの項目について質問をしました。一部紹介します。  
① 改定で介護保険料はいくら位になるか。  
② 介護従事者の労働に見合った給与体系が。  
③ 小規模多機能型居宅介護事業所の本市の整備計画は。  
④ たんの吸引等の基礎的な医療的ケアが、介護施設で検討されている状況は。

**A** 新年度は、ご指摘の対策事業を積極的に活用すべく、昨年の10月から各農業組合に防護柵設置希望を募ったところ、14の集落から北小松の12キロを含む総延長40キロに及ぶ希望があり、現在、事業調整を行っている。国・県の補助金を活用し、農業被害の軽減に努めたい。

熊の出没対策については、情報が入りしだい滋賀県・警察に連絡をするとともに、速やかに市職員が現地確認を行っている。また柵を設置するなど捕獲に努めた。11月中旬以降は猟期に入ったこともあり情報はない。今後も市民の生命と財産を守ることを第一に対策を講じていきたい。

**A** ごみ焼却施設の数は、大津市の南北に長い市街地形状と災害対応や長期施設停止の際のリスクの低減、さらには定期点検に対応できる安定的な処理の確保など、総合的に勘案して、今後とも3地域分散処理方式を堅持していく。

ごみ処理施設整備には、多額の一般財源や市債発行が必要となるが、市民の意見を反映した大津市一般廃棄物ごみ処理基本計画の策定後、焼却施設の規模や事業費を徹底して精査していく。

**A** ① 不確定な要素があるものの五千二百円くらいになると考えられる。

② 全産業の平均給与に対する介護保険事業の平均給与比は七十五%でいまだ平均水準に達していない。

③ 本市は十五の日常生活圏域に、一箇所整備することとしており、第四期計画に残る二箇所の整備を目指す。

④ 介護福祉士や一定の研修を終了した介護職員等が行なえるよう、法整備を行なうようその方向で検討が進んでいる。

## 十一月市議会定例会が開催される

### 議員定数二減案可決される

議員定数検討特別委員会湖誠会は武田平吾議員、北村正二議員、中野治郎議員が所属は大津市議会議員の定数に関する調査・研究のため去る八月定例会において設置され五回の委員会を開催し、検討協議を行いました。その結果各会派の意見として四十人の現行とする意見と二人を減じて三十八人とする意見がありました。

本市の財政状況や市民の声を考慮する中、議員定数を改正した中核市では、削減傾向にある状況を踏まえ、本市の細長い地理的特性を考慮しても、議員自らの研鑽と努力で地域の均衡は保てるものであること、また、旧志賀町との合併後五年を迎えオール大津として一体感が生まれてきている状況を受け、合併前の三十八人に立ち返つてよいのではないかと一考を示しました。十一月定例会十二月十六日の閉会日に際し、条例改正案を六会派代表者が提案し、われわれ湖誠会も削減することに同意致しました。



### 大津市市民病院事件と市営葬儀について

市議会定例会提案説明において目片市長は、大津市市民病院の清掃管理業務の入札をめぐる談合事件（官製談合事件及び窃盗事件）により職員二名が逮捕され、うち一名は病院内の施設利用料を着服していたことなどについて陳謝した。また庁内において公務員倫理の研修会「入札制度の検討委員会」が行われ改めて市長は職員に公務員としての自覚を求めた。

一方、休止中の市営葬儀については「葬儀事業のあり方検討委員会」において基本方針案を取りまとめ、パブリックコメントをへて、本年一月末に提言がまとめる。湖誠会は、低廉な葬儀事業の継続性について、十分検討する必要があると担当部局に申し入れた。

### 北朝鮮の砲撃事件に対する嚴重抗議決議される

去る11月23日午後、北朝鮮による韓国・延坪島砲撃事件が発生した。まず、今回の砲撃事件により犠牲になられた方に対し弔意を表すものである。北朝鮮は、朝鮮戦争休戦後も、幾度となく軍事行動を起こしてきたが、今回の砲撃により兵士の負傷に加え、民間人にまで被害が及ぶ初めての事態となったことは許し難い行為であり、強く非難する。今般の事態が万一再燃するような事になれば、その被害は計り知れないものとなり、これ以上の蛮行の拡大を断じて許してはならない。今般の北朝鮮の常軌を逸脱した行為は、韓国のみならず北東アジア全体の平和と安全を損なうものであり大津市議会としては北朝鮮政府に対し嚴重に抗議する。以上のように決議しました。





